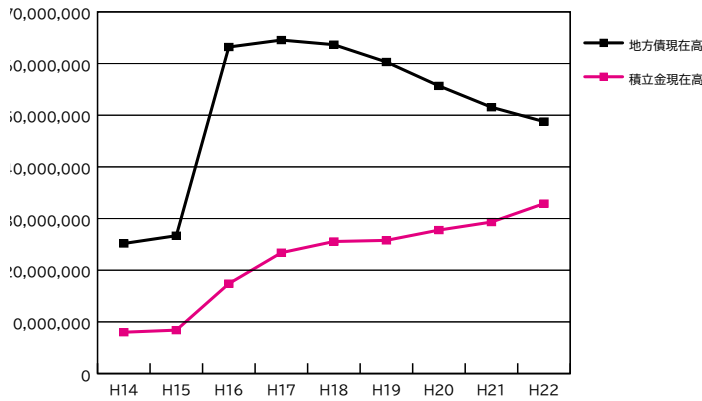


◎負債と積立金の推移（一般会計ベース）

合併時に一気に増えた借入金も、順調に減少していることがわかります。また、積立金が増えている様子もわかります。



単位：千円

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
地方債現在高	25,174,323	26,678,470	63,197,751	64,546,749	63,651,940	60,300,603	55,675,412	51,547,742	48,766,184
積立金現在高	8,023,044	8,390,918	17,405,732	23,391,861	25,555,436	25,775,706	27,768,595	29,320,006	32,890,284

成に、2000万円の
予算計上があったが実
績は。

【答】2台で50万600
0円の実績だった。

【問】総合交流セン
ターの設計費の経緯は。
【答】2940万円で
契約していたが、協議

の上契約を打ち切り、
出来高精算で617万
4000円減額とした。

【問】木造住宅耐震補
強助成の実績は。

【答】補強が必要な住
宅1万3700戸のう
ち、22年度末で38戸。

特別会計

主な質疑は次の通り。

国民健康保険事業

【問】保険料収入が減
少した理由は。

【答】前年度所得の減
少が考えられる。

【問】所得減少は、予
算に見込んでいたはず。
さらに減ったのか。

【答】その通り。

【問】収入未済額が
減った理由は。

【答】収入減少で賦課
額が下がったことと、
収納率が上がった。

【問】黒字決算だが単
年度収支は。

【答】3億以上の赤字。

介護保険事業

【問】介護保険料は3
年ごとに見直しが行
われており、高齢者が増加
する中で年々給付費が
増えている。基金の現

在高はいくらか。

【答】3億1600万
円である。

【問】平成23年度の見
通しは。

【答】1億5000万
円ほどの赤字が予想さ
れている。

【問】保健事業費の不
用額が大きい。

【答】すこやか健診の
受診者が減った。30
00人見込んだが、実
績は約1000人だっ
た。

【問】数字の差が大き
すぎる。

【答】申込みは280
0人あった。

【問】減少傾向の理由
は。

【答】通院しているの
で、検診の必要ないと
判断した人が多い。

補正予算

〔議第64号〕平成23年
度高山市一般会計補正
予算（第4号）

- ・災害復旧及び景気対
策事業のための補正
7億1000万円
- ・消防団員等公務災害
補償等責任共済金の増
額 4788万円
- ・「まちの健康相談所」
整備 520万円
- ・福祉医療費県補助金
返還額 1410万円
- ・基金積立 52万円

〔議第65号〕平成23年
度高山市下水道事業特
別会計補正予算（第1
号）

- 管きよ建設事業費を増
額するための補正
3500万円

〔議第66号〕平成23年
度高山市地方卸売市場
事業特別会計補正予算
（第1号）

- 市場使用料等の見直し
に伴う減額
△1600万円

福祉保健委員会

9月定例会 議案審査報告

〔議第61号〕高山市災
害弔慰金の支給等に関
する条例の一部を改正
する条例について

法律の改正に伴い、
災害により死亡した者
の兄弟姉妹にも弔慰金
支給の対象を広げよう
とするもので、全員一
致で原案の通り可決す
るものと決めました。

【問】生計が同じであ
れば、同居していなく
ても対象となるのか。

【答】対象となる。

【問】生計が同じかど
うかの確認の方法は。

【答】聞き取りによる。

主な質疑は次の通り。